

西日本 OB 連盟 R クラス大会 in 大枝大会報告

日時:2024年2月25日(日) 雨

会場:守口市大枝公園

参加者 14 名

暁 F C 2-1 北河内 F C

前半 0-1

後半 2-0 (得点者:川上 2)

(戦評)

降雨の中、北河内のキックオフでスタート。開始早々から互いにボールポゼッションして中盤を支配しようとするが、ピッチコンディションが悪く、パス&コントロールの場面でミスが目立つ状況が双方に見られた。

前半 4 分、中盤で一瞬の隙を突かれて相手 MF にボールを奪われ、スルーパスから FW(71 番)にドリブルで中央突破され失点する。その後、立て直しを図った暁は、再三ゴールを目指すも無得点のまま0-1で前半を終了。

後半、立ち上がりから久世、助っ人兪を中心に中盤を構成して優位に展開を進め、4 分に瀬戸から出たスルーパスを川上がドリブルで持ち込み左隅へクリーンシュートを決めて同点に追いつく。さらに同 14 分、久世から林俊へボールを繋ぎ、林俊から出たスルーパスを川上がドリブルシュート。相手 GK が弾いたボールを再度川上が押し込み、逆転に成功する。残り数分の時間を逃げ切り、逆転勝利を収めた。

暁 F C 0-0 西日本元老 F C

前半 0-0

後半 0-0

(戦評)

北河内戦で逆転勝利を収めた勢いをそのまま持続し、立ち上がりからテンポよくボールポゼッションして優位に試合を進めるが、アタッキングゾーンでのフィニッシュに至る決定力が不足し時間だけが経過する。

後半からは兪をトップポジションに置きかえ、久世からの縦ラインによる攻撃に加え、サイド攻撃から再三ゴールチャンスを作るも、得点に至る場面には至らなかった。唯一 13 分に右サイドから中央へドリブルで切り込み、川口が放ったシュートがゴール枠を外れたのが残念であり、その後無得点のまま試合を終了した。

(所感)

2試合を通じ、意図したところにボールを止め、運び、蹴る等の基本的な個人技術に課題が見受けられた。また、ボール処理に必要以上に時間を費やしてしまうため、ヘッドアップすることが出来ず、周囲の状況を把握した中での味方同士のアイコンタクトが希薄であった。以上、加齢とともに体力の低下は否めないとしても、個人技術の習得は年齢に関係なくトレーニングで十分レベルアップできるので、今後定例の練習会等において基本技術に特化したトレーニングを繰り返し行い、課題の解消を図っていく必要があると感じられた。

報告者:亀田忠幸